

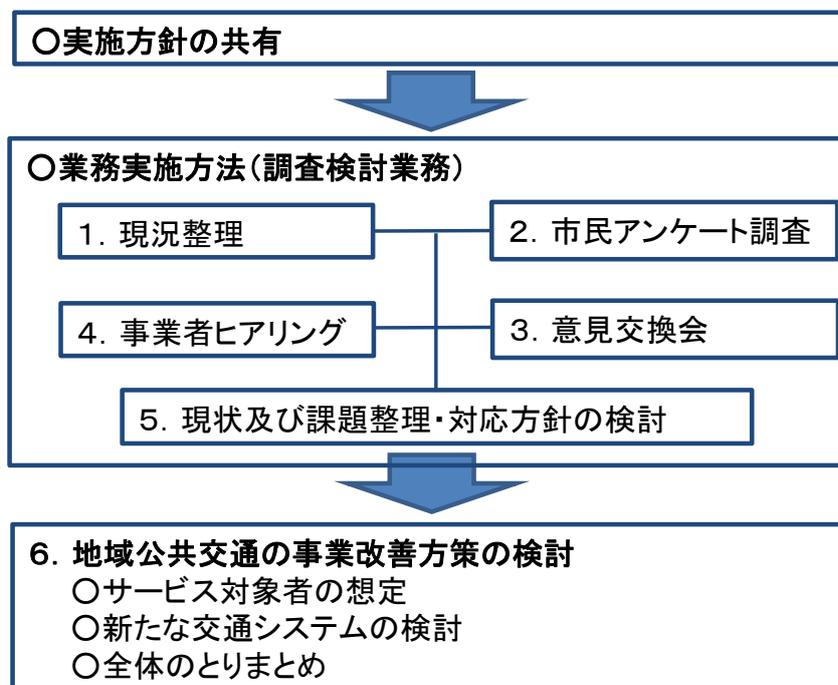
「地域公共交通調査・検討業務」の進め方

<目次>

■業務実施方針について.....	2
1. 岩倉市の現状と課題について.....	2
2. 現状と課題をふまえた取組方針.....	2
■業務実施方法について.....	2
1. 岩倉市の地域特性と公共交通の現状把握及び課題の整理について.....	2
2. デマンド型乗合タクシーの利用状況の分析及び市民アンケート調査の実施.....	3
3. 行政区ヒアリング等（意見交換会等）の開催について.....	3
4. 事業者ヒアリング調査について.....	4
5. 現状及び課題を踏まえた対応方針の検討について.....	4
6. 地域公共交通の事業改善方策の検討について.....	5
7. 地域公共交通会議の運営支援と成果とりまとめについて.....	6
■業務スケジュール.....	6

<検討フロー>

本検討の進め方、検討フローは下記のとおり。



■業務実施方針について

1. 岩倉市の現状と課題について

- H24年の公共交通実態調査での市民ニーズをふまえ、H25.10にデマンド型乗合タクシーを導入。導入当初の1日当たりの乗車人員は約33人であったが、最近の利用者数は伸び悩み、平成29年度は約27人まで減少している。
導入当初に設定した利用目標40人/日が達成できていない。
- 事業の持続性の観点から、事業経費等をチェックすると、年間1,700万円程度必要で、利用運賃等の収入は190~230万円程度で、赤字額1,400万円を市が補てんしている。利用者数は増加していないため、収支は改善できていない。一人一回利用当たり約2,300円を市が負担していることになる。
- H28年の登録者アンケート調査を概観すると、デマンド型乗合タクシー事業は、料金を安く、乗降場所の増加、休日運行などの要望があり、予約がいっぱいとの不満理由も指摘されていることから、事業改善が求められている。

2. 現状と課題をふまえた取組方針

- 市民ニーズを踏まえ導入したが、当初目標値はこれまで達成できておらず、利用者は減少傾向、事業収支も改善できていないため、存続が問われる事業となっている。
- 市民要望をふまえた部分的な事業改善（料金見直し等）により、利用者増を目指すことは可能と考えるが、一人一回当たりの利用に約2,300円を市が負担する構造では、持続性のある事業とは言えず、何らかの対策が求められる。
- 導入当初の移動制約者（年齢65歳以上・障害者等）に対する移動支援について、今後求められる交通システムのあり方について検討を行う。

■業務実施方法について

1. 岩倉市の地域特性と公共交通の現状把握及び課題の整理について

- 地域公共交通の利用状況と上位関連計画の方向性等について確認する。その際、利用実績データの分析から、既存のデマンド型乗合タクシーが、一人の移動に対して自己負担300円以外に市の負担2,300円が必要となっている事実を整理する。
- 加えて、岩倉市を取り巻く、一宮市・小牧市・北名古屋市・江南市等における地域公共交通サービスを整理し、周辺自治体が行っている移動制約者に対する支援内容を確認する。これにより、現在のデマンド型サービスと周辺自

治体のサービス比較を行う。

2. デマンド型乗合タクシーの利用状況の分析及び市民アンケート調査の実施

- ・市民 2,000 人に対するアンケート調査を実施する。
- ・調査内容としては、市民の外出行動と地域公共交通の利用実態、事業の満足度、今後の利用意向等について確認する。
- ・特に、デマンド型乗合タクシーの収支状況等の現状を説明した上で、「移動制約者の移動支援サービス」のあり方として、現状のシステムのままでよいか、市民の声を確認する。

○市民アンケートの調査方法（案）

対象者	16歳以上の市民：2,000人 住民基本台帳から層化無作為抽出：市よりラベル提供
調査方法	郵送配布・郵送回収
配布数・回収数	配布数：2,000人 回収数：1,000サンプル（回収率50%想定）
主な設問	※現状の財政投入規模をふまえ、今後の財政投入額をどうすべきか（拡大・維持・縮小） ※財政投入規模をふまえ、現行のサービス（水準）・システムを変えるべきか ・移動目的別（通勤通学、買い物、通院等）の主な利用交通手段 ・公共交通の利用頻度 ・現状の公共交通に対する評価（満足度・不満足な点） ・個人属性（住所、年齢、性別、免許保有状況） その他自由回答
実施時期	7月頃

3. 行政区ヒアリング等（意見交換会等）の開催について

- ・地区単位でのヒアリング（意見交換会）を実施する。地区区分案は、小学校区（北、南、東、五条川、曾野小学校の5地区）を想定し、ワークショップ形式にて実施する。

○意見交換会の開催方法（案）

狙い	岩倉市の現状実態の説明を行ったうえで、意見交換を行う。岩倉市の特性に合った地域公共交通のあり方について市民と一緒に考える場とする。
対象者	広報により市民を募集。参加意向の認められた市民を対象。 岩倉市地域公共交通会議の住民の代表委員（区長会長や民生委員）等にも参加を要請したい。
実施方法	1) 広報や地域公共交通会議関係者により開催を周知し、市民の参加を募る。 2) 事務局にて、「岩倉市の公共交通の現状実態」を報告。（資料準備） 3) 参加者を1グループ6～8人程度に分かれて、グループ単位で行う。 ○事務局がファシリテーター役
ヒアリングWS内容	○意見交換内容 ・困っている市民はだれか？（適切なサービス提供ができていないか） ・デマンド型乗合タクシーの事業見直しが必要か？ ・新たなシステム（2つ例示）と比較し、どれが望ましいか？
実施時期	10月頃（開催曜日・時間は事務局と協議の上、設定する）

4. 事業者ヒアリング調査について

デマンド型乗合タクシーの事業者へのヒアリング調査を実施し、「利用状況」・「全体事業費」・「運賃収入」・「運転手の確保見通し」・「事業改善アイデア」を確認する。

○交通事業者ヒアリング概要

モード・対象	事業主体	調査項目
デマンド型乗合タクシー	あおい交通(株)	利用者数の推移、事業改善方策 等
路線バス	名鉄バス(株)	利用者数の推移、収支状況 運転手確保・減便廃止リスク見通し
タクシー	名鉄西部交通(株)	公共交通のあり方について

5. 現状及び課題を踏まえた対応方針の検討について

上記の検討成果から課題等を取りまとめる。想定される結果は下記のとおり。

<SWOT 分析による課題整理>

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<強み S> ・行政区域はコンパクト ・鉄道、路線バスあり ・タクシーサービスあり	<弱み W> ・移動制約者向けサービスの デマンド型乗合タクシー事業が停滞 (利用者減)
外部環境	<機会 O> ・広域交通ネットワークを形成 (鉄道・路線バス) ・周辺自治体はコミバス対応 (一宮 i バス・小牧巡回バス等)	<脅威 T> ・運輸業界の運転手不足 (事業費圧迫) ・小牧：デマンド型の実証実験をふまえ ⇒定時定路線サービスで対応

<課題整理をふまえた対応方針>

対応方針 (案)
・移動制約者向け (デマンド型乗合タクシー) サービスのあり方を検討し、市民の移動サービス環境の維持存続を目指す。

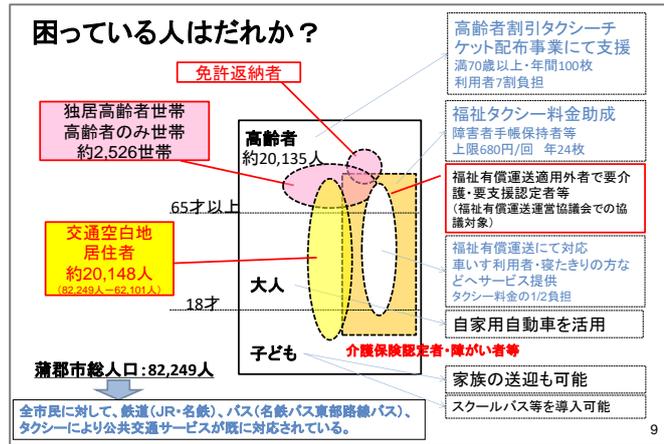
6. 地域公共交通の事業改善方策の検討について

対応方針をふまえ、今後の岩倉市の地域公共交通における具体的な対応施策について検討を行う。

○サービス対象者（交通空白・移動制約者）の想定「困っている人がいないか？」

デマンド型乗合タクシー等の存在で、岩倉市内全域に対して移動サービスが提供されていると言えるものの、利用対象者は「65歳以上・障害者・免許返納者等の移動制約者」でかつ、運行時間は8:30~17:00のため通学・通勤等の利用はできない。

世代別にみれば「高校生の通学」や「夜間の塾通い・習い事」等では、「移動制約があり、困っている」という問題が生じている可能性がある。右図に示す他事例でのアウトプットを参考に、世代別に見た移動サービスの提供実態を確認し、サービスの偏在による移動制約者・困っている人がいないかをチェックする。



○デマンド型乗合タクシーと比較し「事業効率性の高いシステム」があるか？

デマンド型乗合タクシーの主な欠点としては下記が指摘できる。その対策として、3つの方策が想定され、住民意見をふまえ、対応方策を検討する。

<既存システム（デマンド型乗合タクシー）の主な課題・欠点>

- ・乗合化のため停留所を設定しているが、停留所までの移動が発生
- ・ニーズ多様化⇒停留所増の要望があるが、タクシーとの競合が発生
- ・2台体制の運行により、ピーク時等の予約不成立が発生
- ・固定経費がある。受託事業者が限定。(他社の参画なし)
- ・一人一回利用当たりの経費 2,300円⇒一般タクシー料金との比較 等

<考えられる方向性>

1案	現行の「デマンド型乗合タクシー」の存続 ・既存のシステムの改善（利用者意見を反映し、事業改善を行う）
2案	江南市型「乗合タクシー事業」対応 （チケット配布でも可） ・事前登録制とし、既存の65歳以上等の移動制約者向けサービス
3案	小牧市型の「定時定路線支線バス」対応 ・名鉄路線バスの空白エリアを定時定路線でカバーする支線バス

7. 地域公共交通会議の運営支援と成果とりまとめについて

「岩倉市地域公共交通会議」の実施計画案（時期、協議テーマ等）について、下記に設定する。会議開催前には、事務局との事前協議を行う。4回の協議結果をふまえ、検討成果をとりまとめる。

時期	協議テーマ	合意事項
第1回 H30年6月8日	○調査検討の実施計画案の確認 ○市民アンケート調査票案の検討	・調査方法の確認
第2回 H30年11月頃	○市民アンケート調査結果の報告 ○意見交換会の報告	・市民ニーズの報告
第3回 H31年1月頃	○課題と対応方針案の検討 ○事業改善方策案の検討	・事業改善の方向性の協議
第4回 H31年2月頃	○調査検討のとりまとめ案の確認	・検討成果の確認

■業務スケジュール

想定するスケジュール（案）は下記のとおり。

	平成30年												平成31年		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1. 岩倉市の地域特性と公共交通の現状把握															
(1) 地域特性の確認															
(2) 公共交通の現状把握															
(3) 上位関連計画の確認															
2. デマンドタクシー利用分析・市民アンケート調査															
(1) デマンド型乗合タクシーの利用実績の分析															
(2) 市民アンケート調査の実施															
		設計	印刷配布	回収・集計・分析											
3. 意見交換等の開催															
(1) 意見交換会の実施															
4. 事業者ヒアリング															
(1) 事業者ヒアリング															
5. 現状及び課題を踏まえた対応方針の検討															
(1) 課題のとりまとめ															
(2) 対応方針の検討															
6. 地域公共交通の事業改善方策の検討															
(1) サービス対象者の検討															
(2) 新たな交通システムの検討															
7. 検討成果のとりまとめ															
(1) とりまとめ（案）															
(2) 協議をふまえた修正対応・とりまとめ															
●検討会議															
(1) 事前調整															
(2) 地域公共交通会議															
		①									②		③		④
打合せ協議															
	○							○		○	○		○		○
		着手確認						中間報告		中間報告	素案報告		案報告		完了報告

※当該スケジュールは目安であり、交通会議等の意向をふまえて対応する。